

令和 7 年度使用中学校用教科用図書とその特徴（全 16 種目）

令和 7 年度使用中学校用教科用図書については、次のとおり採択する。

	種目	発行者	主 な 特 徴
1	国語	光村図書	【学びへの扉】【学びのカギ】で学習の流れを見通し、国語の資質・能力を獲得する工夫がある。巻末資料や「語彙ブック」は発達段階が意識され、思考を適切に伝える語彙が身に付く工夫がある。
2	書写	東京書籍	目標に対して自分の書いた文字で振り返りができるよう工夫されている。日常生活との関連が図りやすい。行書を「5 つの特徴説明」と「4 つの筆の動き」で理解させる点が特徴的である。
3	地理	教育出版	「確認」「表現」と題した追加の課題が設けられ、学習を深める気付きが得やすいように工夫されている。地図やグラフも掲載されていて見やすい。
4	歴史	東京書籍	章末のまとめ活動で、思考ツールを活用した振り返りができるよう工夫されている。対話的な活動「みんなでチャレンジ」、基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」等のコーナーがある。
5	公民	教育出版	新潟県関連の写真や記事が多く掲載されている。持続可能な社会の実現に向けて考え、表現する資料が充実している。
6	地図	帝国書院	色彩が鮮やかで見やすい。地図を活用する問い、SDGs について考察できる資料がある。読図や索引の使い方を丁寧に説明している。
7	数学	学校図書	2 次元コードの横に「アニメーション」「活動」「データ」「映像」など 10 種類の見出しがあり、リンク先の内容が明確である。
8	理科	学校図書	写真が大きく視覚的な紙面構成で、対話的な学習になるよう工夫されている。CAN-Do リストで学習の目標が示されていて、生徒が自己評価できるとともに、教師の指導と評価の一体化に参考となる。
9	音楽一般	教育芸術社	視覚的な支援も多く、多様な生徒のニーズに対応できる。音楽に主体的に向き合う活動を意図的に組んであり、生徒が自分の言葉で意見を述べやすい。練習の手立てが写真で掲載されており、活動が苦手な生徒への分かりやすい支援がある。
10	音楽器楽	教育芸術社	
11	美術	日本文教出版	生徒が学びやすく授業の見通しが持てる紙面構成になっている。題材のねらいや内容が分かりやすく、特に「学びの目標」の 3 つの観点は、生徒にとって具体的な言葉で表現されている。
12	保健体育	東京書籍	写真やイラスト、統計資料等がバランスよく組み込まれており、量・質ともに充実している。課題が明確に示され、デジタルコンテンツも利用しやすい。
13	技術分野	開隆堂	ガイダンスでは、身近な製品を取り上げ、「技術の役割」「学習の流れ」等を説明している。実習例が充実している。調理の手順が、簡素され理解しやすい。「自立」と「共生」の一体で生活が成り立つことの重要性を知らせている。
14	家庭分野	開隆堂	
15	外国語	開隆堂	導入から表現までのつながりを明確にした構成で、生徒向けの CAN-DO リストとなる一覧を示し、生徒が目標を確認しながら学習できる。
16	道徳	教育出版	本文最初のページに学習の見通しや学習テーマを共有する問いが提示されている。多様な人物の生き方をロールモデルとして、自分らしさや多様性を当事者の言葉から実感できる。